

平成17年度 学校評価に関する外部評価について

4・・・あてはまる

3・・・ややあてはまる

2・・・あまりあてはまらない

1・・・あてはまらない

番号	評価項目	外部評価委員					評価補足
		A	B	C	D	E	
1	学校評価・外部評価に関する説明は適正に行われている。	3	3	4	4	4	・資料は簡潔にしてください。 ・私の理解が不十分でした。
2	外部評価委員会の回数（4回）は適正である。	4	3	4	4	4	・授業参観の機会があればよいと思います。 ・4回のうち1回は、外部評価委員だけの会でも良いのでは。時間をかけて先生方と一緒に話す機会でも良いと思います。
3	外部評価のための資料は適正に準備されている。	3	3	4	4	4	・資料は簡潔にしてください。
4	学校経営計画の具体的方策は適正に設定されている。	4	4	4	4	3	・一律制度のもと各学校の独自性が出されない空気のもとで、創意工夫、主体的に作成されている。
5	評価規準（努力指標）は適正に設定されている。	4	3	4	4	4	特記事項はありませんでした
6	保護者アンケートの評価項目の設定は適正である。	4	3	4	4	3	・保護者が受験に駆り立てる学歴社会への親心も働いてか、世の中には不幸な境遇に苦しむ人たちが少なくない。それを教えなければ、いくら高い学歴を得させても道を誤ることがあるように思われる。 ・評価項目6～8について、笛吹けいども踊らずの感がありますが、到達目標を70点におけば、先生方の努力が反映しているし、今後の目標も見えてくるような気がします。 ・保護者アンケートの項目10～13の評価について、保護者会等で十分な意見交換をする必要があると思います。
7	生徒アンケートの評価項目の設定は適正である。	4	3	4	4	3	・将来を見つめた夢、目標をもっているのか。人のために何ができるか、何がしたいか。 ・生徒アンケート結果の肯定的な回答率の低い項目については、その理由、原因を少し詳しく考察する必要があると思います。
8	保護者・生徒アンケートの考察は適正に行われている。	4	3	3	4	4	・社会の厳しい現実を見ているか。（学力の向上だけではない）
9	学校評価（自己評価活動+外部評価）は適正に運営されている。	3	3	4	4	4	特記事項はありませんでした。
10	外部評価項目（本紙）の設定は適正である。	3	3	4	4	4	特記事項はありませんでした。

○その他気づき・感想がありましたら、ご自由に記入してください。

- ・家庭の経済格差が子どもの学力に影響、小中一貫教育、小学生の中学受験増加等、新聞等で話題になっていることについても教育情報として保護者の方々に流してほしい。
- ・地域社会への依存とは思われないが、各行事への主体はPTA、保護者がならなければならないと思います。
- ・学校生活を楽しくするものは、自主活動として考えたり、工夫する場があると思われま。職場体験学習は、そういった場でよい企画であるし、仲間意識を育てるには、何回か生徒だけで共同生活する場もあればと思っています。
- ・授業参観評価シート等、学校が外部評価に前向きに取り組んでおられる姿に感動しております。
- ・学校評価アンケート項目は保護者、生徒とも適切である。
- ・外部評価委員会（学校協力者会議を含む）を先生方はどのように考えておられるだろうか。
- ・2つのアンケート結果を見て、先生方の研修会を持たれるか、先生方の意見または保護者の感想を開かれる事（全員でなくてもい）が必要だと思います。
- ・アンケート結果を見て、先生方が今後の教育活動（授業、学級経営）にどう生かされるかまともが欲しい。
- ・学校教育目標では、学校長の考えが中心となるのは当然のことですが、地域の人が地域の学校に何を望んでいるか調整することも大切だと思います。
- ・外部評価委員会に、小学校の委員の方と一緒に話し合う機会があっても良いのではないのでしょうか。
- ・目標、方策、そして成果を見て、はじめて課題が見えてくるという流れは非常に効果的だと思います。
- ・煩雑で時間もとられる作業ですが、今後効率化を図り、進化させていただきたいと思います。